



もいまち

議会だより



写真/小國神社奥宮(本宮山) 奥磐戸神社例祭

《主な内容》

12月定例会、11月臨時会 2~3

一般質問 6~9

人口減少に歯止めを
移住定住対策を積極的に 他

議会報告会回答 10~11



勝示「三つ石」

小國神社大境

(薄場・橋・磐田市豊岡との境)

森町議会は、12月定例会を6日から19日まで開催し、補正予算や発議などを審議しました。

一般質問は、人口減少に歯止めを、移住定住対策を積極的に、など7人が質問しました。(6P~9Pに掲載)

12月定例会

一般会計補正予算(第8号)

追加 1億2578万9千円
総額 76億1445万3千円

太田川圃場南4号線改築

国から追加で交付金をもたらえることになったため増額する
(1600万円)

産地パワーアップ事業費補助金

集出荷貯蔵施設の整備などを補助する
(2444万6千円)

図書購入

豊橋市在住(天宮出身)の藤本氏及び匿名の方からの寄附金で小中学校の図書を購入する
(300万円)

耐震化促進事業費補助金

木造住宅耐震補強計画策定や耐震補強工事に対する補助金を増額する
(418万2千円)

【賛成討論】

農業振興や、企業誘致に係る工業団地基盤強化、建築物耐震化促進など、森町の発展と住民生活に必要な予算である。
(中根幸議員)

44%に当たる5580万円が国や県からの補助金を活用しており、財源が無理なく確保されている。
(伊藤議員)

条例

森町ふるさと応援基金条例(一部改正)
ふるさと納税の受入額が大幅に伸びているため、基金積立ての規定を変更しました。

森町営住宅管理条例(一部改正)
城下町営住宅等の撤去が完了したため、条例から城下住宅及び向天方住宅を削除しました。

議員発議

- ①「地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書」
 - ②「次期介護保険制度改正における福祉用具貸与、住宅改修の見直しに関する意見書」
- 以上の意見書を、内閣総理大臣等に提出することを採択しました。

12月定例会の審議結果

	議案名	結果	備考		議案名	結果	備考	
人事	森町固定資産評価員の選任	同意	全員賛成	補正予算	平成28年度森町介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成	
	森町ふるさと応援基金条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		平成28年度森町水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成	
条例	森町税条例等の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	算	平成28年度森町病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決	全員賛成	
	森町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成		一般議案	静岡県市町総合事務組合規約の変更	原案可決	全員賛成
	森町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成			辺地に係る公共的施設の総合整備計画策定	原案可決	全員賛成
	森町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	森町道路線の廃止		原案可決	全員賛成	
	森町営住宅管理条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	発議	森町道路線の認定	原案可決	全員賛成	
	平成28年度森町一般会計補正予算(第8号)	原案可決	全員賛成		地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出	原案可決	全員賛成	
補正予算	平成28年度森町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成	条例	次期介護保険制度改正における福祉用具貸与、住宅改修の見直しに関する意見書の提出	原案可決	全員賛成	
					森町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	全員賛成	

人 事

森町固定資産評価員の選任

鈴木寿一氏の選任に同意しました。

一 般 議 案

- ① 辺地に係る公共的施設の総合整備計画策定
- ② 森町道路線の廃止
- ③ 森町道路線の認定

三倉大久保の町道の拡幅等を、辺地対策事業債を活用して行うため、関連議案3件を可決しました。

路線名：「乙丸・田能線」「下刈線」
 事業年度：平成29年度から33年度まで
 施工延長：640メートル
 総事業費：1億500万円



来年度から整備を行う乙丸・田能線

11月臨時会

森町議会は、11月臨時会を29日に開催し、条例改正などの7議案を審議しました。

条 例

人事院勧告に基づき、職員給与や、特別職・議員の期末手当を上げる条例改正4件について、いずれも賛成多数で可決しました。

討 論

森町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例 (一部改正)

【賛成討論】

景気が悪くて苦しんでいる人がたくさんいる。人口減少対策や、学校環境の改善などの問題が残る中、議員の期末手当を上げるべきではない。

(西田議員)

【賛成討論】

森町の議員は、それほど高い報酬をもらっているわけではない。人事院勧告に伴う職員給与の引上げと同様に、期末手当を上げ、地域経済を少しでも活性化させるべきである。

(小澤哲議員)

一般職の職員の給与に関する条例 (一部改正)

【賛成討論】

森町を良くするためには、職員の努力が不可欠である。地域経済を活性化させるためにも、給与を少し上げて頑張ってもらいたい。

(西田議員)

【反対討論】

人事院勧告は50人以上の企業を基準にしている、森町の給与体系には合っていない。景気が悪いときはみんなが身を切ることが必要と考える。

(鈴木議員)

【賛成討論】

他市町の大きな企業で働いている町民も多く、人事院勧告が森町に合っていないとは言いがたい。例年通りこれを参考にして差し支えない。

(山本議員)

補 正 予 算

一般会計補正予算(第7号)

減額	2057万5千円
総額	74億8866万4千円

主な内容は職員給与等の調整

人事院勧告による増額652万5千円
 人事異動に伴う減額3125万9千円

11月臨時会の審議結果

議案名			結果	備考	議案名			結果	備考
条 例	森町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	反対 西田議員 鈴木議員 伊藤議員	条例	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	反対 鈴木議員		
	森町特別職の職員で常勤のもの給料等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	反対 西田議員 鈴木議員	補 正 予 算	平成28年度森町一般会計補正予算(第7号)	原案可決	反対 西田議員		
	森町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	反対 西田議員 鈴木議員		平成28年度森町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	全員賛成		
					平成28年度森町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	反対 鈴木議員		

第一常任委員会

ゴジカラ村から見る
多世代共生手づくり社会

愛知県長久手市

長久手市は、快適度、子育てがしやすいといった各種調査で日本一に輝き、今も人口流入が続いています。

人口減によって日本の半数の自治体が消滅の恐れがあると指摘される中、長久手市は何が違うのか、その根幹となる考え方を探るべく、現長久手市長が平成23年に町長に就任するまでの約30年かけて作り上げた施設『愛知たいたいよの杜ゴジカラ村』を視察しました。



ゴジカラ村
5時に仕事を終え「時間に追われない国」の意

村は小高い雑木林の中にあり、幼稚園、託児所、特養、シヨートステイ、デイサービス、ケアハウス、訪問看護ステーション、ケアプランセンター、地域包括支援センター、古民家、喫茶店などの施設が雑木林を守るように建てられています。

このコンセプトは「地球上のあらゆるものの存在、あらゆる人の訪れを大切に、もっとゆつくりした暮らしを取り戻し、その中でお年寄りが『生

順位	前年順位	市名 (都道府県名)	総合評価 偏差値	安心度	利便度	快適度	富裕度	住居水準 充実度
1	1	印西(千葉)	59.48	641	3	15	60	176
2	2	長久手(愛知)	58.41	203	26	1	25	711
3	8	砺波(富山)	57.74	285	10	262	423	19
4	6	野々市(石川)	57.43	4	1	34	248	753
5	5	坂井(福井)	56.95	64	107	296	406	24
6	7	鯖江(福井)	56.67	81	107	131	427	53
7	9	かほく(石川)	56.64	212	30	82	564	35
8	4	名取(宮城)	56.60	566	9	3	259	403
9	12	本巣(岐阜)	56.43	194	15	545	323	70
10	3	能美(石川)	56.42	80	447	50	242	69

東洋経済「住みよさランキング2016」より

第一・第二常任委員会は、11月15日、16日に、所管事項の先進地を視察しました。主な内容を報告します。

きていてよかった』と思えるような生活を作り上げること……」いろいろな人にも関わって、いろいろな人に交わってもらおうと掛け作りをし、みんなで守る安心感と信頼感が快適な暮らしを支えることだ、ということを訪れる人に教えてくれる場所である。」との説明を受け、それらを実感する視察でありました。

森町の今後のまちづくりに欠いてはならないものとして、案件審議のチェック項目に入れていきたいと思いました。

郡上市の

情報化計画を研修

岐阜県郡上市

郡上市は、世の中が急速にデジタル化されていく中、そこに対応していかなくてはならないと、ICTの活用により更なる行政の効率化や市民へのサービスを充実させるために、平成22年度に第1次情報化計画を策定し、それらの結果を踏まえ27年度に第2次情報化計画を策定しました。

計画策定における職員配備は、情報課から担当者1名と各課から年齢30代くらいの主査クラスを情報化リーダー

として選出してもらい、検討を重ね、業務委託をせずに独自で計画を策定したとのことでした。

説明の中で、「ICTの知識は職員の中でも格差があるのは明白ですが、行政は急速に技術が向上している情報化時代に、市民に遅れないようしっかりと対応していかなければならないと考えています」と、しっかりとした取り組み姿勢が見られました。

ICTの活用は森町のまちづくりにあっても重要なことであるためしっかりと計画を持って進めるべきだと思いました。



総務省ICT利活用の促進より

第二常任委員会

町並みの景観保全

岐阜県高山市

高山市の成り立ちは、豊臣秀吉の命を受けて飛騨の国を平定した金森長近が、1588年から高山城の築城を始め、同時に城下町の整備を行ったことから始まりました。

金森氏が京都になぞらえて作った京文化の香り高い町に、幕府直轄による統治のための江戸文化が入り込み、これが融合して、江戸幕府直轄後に栄えた商家町が、「古い町並み」として残っています。

町並みの保存区域は、国の文化財として厳しい制限がある「重要伝統的建造物群保存地区」と、その周辺地域の市条例による「市街地景観保存区域」があります。高山祭の屋台組等を単位とした住民による「市街地景観町並保存会」が計21団体と、「高山市景観町並保存連合会」があり、保存活動に努めているとのこと。

市の対応としては、修理（伝統的建物）と修景（伝統的建物以外）とに分けて補助率80%の助成を行っています。また、保存会の活動に対しても経



高山市の町並み

費助成をしています。

このほか、市街地景観保存条例を制定し、保存区域の景観の規制及び補助に取り組んでいます。無電柱化事業や道路修景事業、事業者にも協力を依頼し景観阻害物の撤去や、景観に配慮された店舗等にもらうなど、良好で潤いのある町並みの景観形成に努めています。

買物弱者への

宅配サービス

岐阜県飛騨市

飛騨市に新たなコンビニが進出しようとしたとき、宅配サービス事業を交渉して、本年5月に協定締結をしました。宅配時において、安否情報、不審者情報や道路状況などの通報も市にしていたこととなりました。

宅配サービスの品は、おにぎり・弁当から日用品まであり、多少割高ですが、インターネットや店舗から注文するもので、翌日に自宅や事務所配達されるものとなっています。

飛騨市では、移動販売による買物弱者対策支援事業も立ち上げました。移動販売用車両の購入費・改造経費に対し3分の1の補助、運行経費や冷蔵設備等の修繕費に対しても補助をして、事業の継続と新規参入を促すことになりました。

移動販売する品は、生鮮食料品や弁当、日用雑貨品で、個人商店やJAが行っています。これにより、ほぼ毎日全地区に移動販売車が入り、高齢者などの買物弱者が自ら必要なものを選んでの買物ができるようになりました。



補助を受けて移動販売を行っている車両

視察を終えて

高山市のような町並みを保存する取り組みにおいては、多額な経費と住民の理解が必要となりますが、町並みの保全や遠州の小京都のまちづくりに向け大変参考になりました。

また、森町においても山間地をかかえ、さらに高齢化が進んでいる中で、買物弱者が多くなってきたことは否めません。今後の町の対策のひとつとして参考になる事例でありました。



伊藤 和子

人口減少に歯止めを 移住定住対策を積極的に

問 近年、全国で空き家問題が大きく取り上げられ、各自治体の政策課題として注目されている。

森町は、本年度から空き家等の実態調査が行われているが、現段階での進捗状況と「空き家等対策計画策定」に向けて、役場内の体制整備について伺う。

町長 町内会の協力による空き家調査を10月末に、現地調査を11月末に終了している。

現在、調査結果から所有者等の確認作業中である。

また、1月末をめどに空き家等の建物所有者に対し、今後の管理等についての意向調査を行い、空き家等のデータベースを作成する予定である。

今後は結果を精査し、庁内関係各課との連携を取りながら、当町の実情にあった対策を考えていく。



空き家をリフォームし、5月からカフェとなる早川宅(黒石)

問 移住希望者の受け入れ体制が十分である。
今後は体制を整備し、積極的な空き家対策、移住定住促進を図るべきと考えるが。

町長 今後は町の状況を把握し、国や県の動向、周辺市町・全国の先行事例等を参考に取組んでいく。

その他の質問

・防犯カメラ設置補助金制度の創設を

町政を問う ～一般質問～



鈴木 拓治

浜岡原発反対の表明を

問 人間が未来に渡って安心・安全な生活をするためにも、原発は地球上であってはならない施設だと思う。中電や国は浜岡原発の再稼働を視野に着々と準備を進めているようだ。今こそ原発反対の意思表示をするときだと思いが、いかがか。

町長 静岡県及び中部電力と浜岡原子力発電所UPZ圏内5市2町で、28年7月8日に「浜岡原子力発電所の周辺市町の安全確保等に関する協定書」を締結し、環境の安全を確認しているところである。

福島第一原発事故が収束していない現時点においては、再稼働について、住民の理解を得るのはかなり難しいと考えている。国のエネルギー政策及び近隣自治体や住民の置かれている立場など、いろいろな考え方があの中で、町として判断を下すのは時期尚早である。今が意思表示をするときは考えていこう。

京都会議からの脱退を

問 遠州の小京都と宣伝している森町だが、本当に小京都としての風情や景観を持っている町だと思いか。町民はそれほど小京都を意識していないと想像する。無理してつくる小京都づくりより、この町の実態に合った「町づくり」を模索すべきだと思いが、町長の考えは。

町長 森町は京都会議に加盟する基準が全て合致している。現在加盟して5年目であり今後も「遠州の小京都」を前面に押し出し、森町の観光や町の魅力の発信を続けていきたい。大変残念なことであるが、町民の皆さまへ十分な理解をいただけるだけの情報発信が不足していたと反省し、今後の活動に繋げていきたい。「遠州の小京都」は、町の将来像を語る上で重要アイテムであり全国京都会議から脱退することは考えていこう。

その他の質問

・「市場・入の口簡易水道」の町水道への加入を



西田 彰

重度心身障害者(児)の 受け入れ施設の確保は

問 体に重い障害を持つ本人、家庭が悩むのは、身近な受け入れ施設が森町にないこと。これは重度、中度を問わず、障害を持つ家族がいる家庭では、支える家族が高齢になれば、遠距離の送迎、介護には限界がある。伺います。

町長 一、町内から町外施設に通う重・中度障害児(者)は何人ほどか。その把握と、日常生活の状況はどうか。
二、新たな施設を作るとなると、問題は何か。
三、聖隷事業団の愛光園が、障害者事業を前向きに捉え、保健福祉課と課題等を検討していると聞かすが、その後の進展はどうか。

町長 一、障害者総合支援法に基づき、サービスを利用する方は、町に申請しているので把握しており、現在90人いる。また、本人家族と相談支援事業所でサービス利用計画を立て、町に提出するので、日常生活状況は大まかには把握できる。
二、どのような障害福祉サービスのニーズがあるか、ニーズに基づき



天宮サテライト(上)と一宮愛光園(下)

どのようなサービス種別の施設を整備していくのか等について、来年度障害者福祉計画を策定する中で協議をしていく。

三、平成29年度から、愛光園天宮サテライトで放課後等デイサービス事業を開始する。一宮愛光園では、重度心身障害者支援事業を試行的に実施し、平成30年度事業開始に向けて、手続きや施設の整備を行うと聞いている。

その他の質問
・高齢者運転免許証返納支援条例の制定の考えは

町政を問う ～一般質問～



中根 幸男

平成29年度 当初予算の規模等は

問 平成29年度当初予算は、予算編成方針に基づき編成作業が進められていることと思う。
新年度予算の規模と主要な新規事業、継続事業の計画について、現段階での町長の考えを伺う。

町長 平成29年度予算編成にあたっては、第9次総合計画の施策の基本方針を柱として「まち・ひと・しごと

と創生総合戦略」の具体的な推進「マニフェスト」の3本の柱」を考慮し、事業の必要性・妥当性を吟味し、効果的かつ効果的な予算を、国の動向等を注視しながら、編成するよう指示している。

当初予算の総額は、平成28年度の当初予算に修正予算(第1号)で計上した政策的経費を加えた額(71億6546万円)をやや下回る規模になると見込んでいます。

主要な新規事業は、具体的な事業内容等予算編成を年明けにかけて行っていくので、個別の事業は申し上げる段階でないことを承願したい。

主要な継続事業は、未就学児自己負担の無料化(子ども医療費助成事業)、地域おこし協力隊活動事業、ふるさと納税事業、太田川圃場南4号線改築工事、遠州の小京都推進事業等について取り組んでいきたい。

何れにしても『住む人も訪れる人も「心とらぐ森」』を踏まえた事業を計画し、それぞれの事業を着実に、効果的に推進していきたい。



第9次総合計画の基本方針(案 審議中)



小沢 一男

避難所への空調設備は

問 国は熊本地震を教訓に、災害時、避難所における避難者の健康維持のため、空調設備は切実な課題とし、平成28年度補正予算等により緊急防災事業債の対象事業が拡充され、指定避難所における空調設備費が追加された。森町は、避難所の小・中学校にいずれも空調設備はない。国の助成金を活用して、空調を整備する考えは。

関に対し、速やかに対策を実施するよう求め、通学路の安全対策の推進を要請した。
森町の通学路危険箇所、ガードレール未設置箇所への対応は。

教育長 ガードレールは、通学路に限らず町や県が必要に応じて設置している。

問 交通事故による死傷者数を年齢別に見ると小学1・2年生に当たる7・8歳児が突出して多い。子ども達の命を守るためヘルメット購入助成は。

教育長 ヘルメットは教育委員会の指示によるものではなく、地域性や保護者の様々な考えがある。現段階では助成は考えていない。

その他の質問

・通学路のヒヤリハット対策は
・町道交差点等の「路面標示」維持対策は

問 文部科学、国土交通、警察の3省庁は登校中の児童が死傷する事故が起きたことで、全国市町村関係機

通学路の安全対策は

町長 ランニングコスト、更新費用は自主財源となる。密封性が低い小中学校体育館に、多額な空調設備を投資しても期待する効果は得られないと考える。総合体育館は、空調設備がなくともある程度の防寒機能は備えている。要配慮の避難者には空調設備のある部屋で対応が可能であり、現時点では考えていない。

町政を問う ～一般質問～



岡野 豊

重度心身障害者(児)の居場所対策は

問 重度心身障害者の介護施設整備及び心身障害児放課後デイサービス施設、どんぐりの改善の考えは。

果的な支援を行いたい。全国規模の情報収集事業に参加するなど、色々な手段を使い情報発信していきたい。

町長 平成29年4月から、一宮愛光園が、試行的に生活介護サービス事業を実施し、平成30年4月より同事業を開始していきたいと聞いている。また、放課後デイサービスについては、天宮サテライトにて、平成29年4月から実施したいとのことであり、スムーズな移行に努めたい。

問 野生鳥獣は、農林水産物等に多大な被害を及ぼしている。町内で捕獲した野生鳥獣を、春野町に有る処理加工施設で処理加工し、地域活性化に有効活用出来ないか。

住宅政策の考えは

問 天宮土地区画整理組合の組合解散に向けた事務手続き等、町の支援の考えは。

また、移住・定住への助成制度等の住宅政策の考えは。

町長 野生鳥獣は、仕留めて処理するまでに時間の問題が有り、搬入できる地区に限られる。どのように活用するか制度や、食肉の有効活用を考えていきたい。

町長 天宮土地区画整理組合解散に向けた手続きには、全面的に支援していく。

移住・定住については空き家等利活用の意向調査をしている。より効



薄場地区で取り組んでいるジビエ「亥のちゃんドッグ」



中根 信一郎

患者バスの利活用

について伺う

問 現在、森町病院で運行している患者バスについて、利用以外の時間を、町内循環バスとして利用できないか。試行運行による問題点・改善点を検討することも必要と考えるがどうか。

また、高齢者運転免許証の返納につながるものと考えているがどうか。

町長 患者バスは、県の補助事業でバスを購入し、維持管理についても引き続き補助金を利用して運行していることを踏まえると、目的外の運行は性格上難しい。また、民間バスやタクシー事業者との競合や、運行経費が大幅に増えるという問題もある。

しかし、バスを中心とする公共交通の見直し・検討を図ることは、町の重要な課題である。

今年度から地域公共交通の検討調査業務を開始し、森町地域公共交通会議での委員との意見交換、町民アンケート調査結果、近隣市町の交通体系等々考慮し、より良い交通ネットワークを構築したいと考えている。

その際には、バスの試行運転等も一つの手段であると考えており、公共交通ネットワークの充実を図ることによって、高齢者の運転免許証の返納率向上にもつながっていくものと考えている。



病院で運行している患者バス

町政を問う ～一般質問～

第3回 3町議会議員研修会に参加しました

1月19日：吉田町中央公民館

「議会の活性化を考える」

1月19日、吉田町中央公民館にて、森町、川根本町、吉田町の3町で合同研修会が開催されました。

午前中は、それぞれの議会から事前に出されたテーマ、森町「人口減少対策について」、川根本町「委員会活動の活性化について」、吉田町「議会基本条例について」をもとに3つの分科会に分かれて、活発な議論を交わしました。



川根本町・吉田町と議論を行う



三宅氏による講演

午後は分科会で出た意見の発表と、全国町村議員会館の三宅達也氏による講演がありました。町村議会が抱える課題や、本会議・委員会の運営における留意点、町村議会の活性化や取り組みについての解説がありました。現在、森町議会が抱える課題に対して、どのように対応していかなければならないのか考えさせられる有意義な研修会でありました。

議会報告会

〈ご意見に対する町の考え方〉

森町議会では、行財政問題(課題)研究会のテーマとして、人口問題を検討しています。

本年度は、議会報告会の形を変えて、子育てをされている幼稚園・保育園、小学校、中学校の保護者の皆さまから現在抱えている問題や課題、並びに希望・要望を伺うため、昨年7月26日、27日、29日の3日間にわたり意見交流会を開催し、73名にご出席をいただきました。

保護者の皆さんからいただいた要望・意見等については、取りまとめの上、町より回答・考え方を伺いましたので、その一部を報告させていただきます。

保育園・幼稚園の要望・意見

(子育て)

意見 町には産婦人科がない。検診場所が少ないため町外へ出向き時間がかかる。

回答 森町家庭医療クリニックで産婦人科を掲げており、昨年9月から「ふくろいマタニティクリニック」で分娩される方に限り「妊婦健診」を始めました。希望される場合は、一度、家庭医療クリニックにご相談ください。

要望 南部地区に保育園を設置してほしい。

回答 子どもの将来人口予測、保護者ニーズの把握、幼稚園預かり保育との連携、民間保育所の誘致など、森町子ども・子育て会議の委員の意見を伺う中で、総合的に検討してまいります。

要望 町内に大きな公園を作してほしい。町外からの集客を図れるし、永住に繋がる。

回答 人口規模、子どもの数等から規模や内容を調査・検討する必要があります。子育て施策や総合計画の中で検討してまいります。

要望 災害発生時に災害関連の避難所と連携付けて子どもを保護できる仕組みを作してほしい。

回答 家族に引き渡しができない場合は、帰宅困難者として避難所(学校)で安全確保する計画としています。

(預かり保育)

要望 預かり保育の時間を前後1時間程度延長してほしい。

回答 近隣市の預かり保育の状況は、磐田市が16時まで、袋井市が17時までとなっているとともに、朝の預かりは実施していないのが現状ですが、ニーズを把握して検討していきたいと思えます。

要望 子どもが病気がか出席停止になった時に安心して預かってくれる「病

児保育」とか「一時保育」のできる制度を拡充してほしい。

回答 病氣回復期の児童を家庭で保育できない時、保護者の子育てと就労の両立を図る病児保育の事業実施にあたっては、看護師及び保育士等の有資格者がいる専用施設内で、一時的に預かり、受け入れる体制が必要であることから、一時保育も含め、保育園や病院等と研究・検討してまいります。

教育委員会の所管である幼稚園での対応は難しいと思えます。

(保育料)

要望 保育料軽減策の第1子の上限を中学まで延長してほしい。

回答 国の「子ども子育て支援制度」により、平成28年4月からひとり親等もしくは、低所得世帯については第1子の「小学3年生まで」という上限を撤廃しています。

現時点では第1子の上限を中学まで延長するのは、国の制度にないので難しいです。

(通園環境)

要望 子どもの帰宅途中に知らない人から声を掛けられる事例があった。袋井市で行っている帰宅時間のパトロールのようなものが出来ないか。

回答 幼稚園の場合は、園児だけで帰宅することはなく、必ず保護者の付き添いによる集団降園が基本となっています。

小学生等の下校時のパトロールについては、放課後子ども見守り隊などのボランティアや役場各課にも防犯について働きかけをしたいと思えます。また、町内会にも声掛けなどをお願いしていきたいです。

(その他)

要望 森町には、公共の乗り物が無く不便、車がなければ生活ができない。病院や買い物に利用できる公共の乗り物がほしい。

回答 現在、公共交通のあり方に関する町民アンケート調査を実施しています。その結果も踏まえて、今後の体系を検討してまいります。



保護者の皆さんに要望・意見を伺った

要望 森町は浜岡原子力発電所から30キロ圏内に入るところがある。緊急時に子ども達が直ちにヨウ素剤を服用でき、また避難できるような体制を整えてほしい。

回答 安定ヨウ素剤の配布については、副作用等の課題もあるため、災害時に行う緊急時モニタリング結果等を勘案して国が配布することを判断し、町内に備蓄してある安定ヨウ素剤を医師、薬剤師又は町職員が問診を行ったうえで配布することとなっています。

小学校の要望・意見
(子育て・生活環境)

意見 森町は全体的に道路が狭いことと、歩道の整備が遅れている。

回答 狭い道路については、地元と調整しながら計画的に改良整備をしています。歩道については、通学路の安全対策として、毎年危険箇所を確認しながら、必要な箇所については交付金等を活用して対応していきます。

要望 働ける場の確保をお願いしたい。町外に出て行かなくてもよいように。

回答 企業誘致を継続して推進してまいります。今年度、遊休工場等に対する誘致を推進していくための実態調査を実施しています。また、町内企業の採用情報などをお知らせするホームページを検討しているところです。

要望 2男、3男が町外に出て行ってしまったため住宅政策を進めてほしい。

回答 住宅地に活用するにふさわしい遊休地に係る実態調査を実施しているところです。

(放課後児童クラブ)

要望 放課後児童クラブでも、朝・夕1時間前後の延長がほしい。

回答 利用者のニーズや指導員の人数・配置等を考慮し、検討していきます。

(教育環境)

要望 宮園小学校と飯田小学校には、遊具が無いので設置してほしい。

回答 両校とも総合遊具がありました。高さが基準を超えていたため撤去し、その後(平成26年度以降)跡地に順次遊具を設置しています。学校の要望に沿って設置を検討していきたいと思っております。

要望 学区編成を検討してほしい。(選択制などに)

回答 小規模校が多い森町の場合、次年度の学級編成・教職員の配置等が適正にできなくなってしまうので選択制は、難しいです。

中学校の要望・意見

(部活動)

意見 中学の部活動において部員の人数が足らず、他の中学と合同で部活動をしているが、新入生が入ってきてひとつの中学が部員数を確保すると、分かれるということになっている。一貫

した活動ができないか。子ども達の部活動の選択肢が無くなっている。泉陽中ではバレーボール、テニスが無くなった。部活動を選べないのでは健全な中学生を送れない。

回答 生徒数の減少により、部活動そのものの運営が困難な学校が県内でも発生しているため、静岡県中学校体育連盟では、合同チームを編成して大会に参加することを認めています。

ただし、合同チームには種目と部員数に規制があり、日常的に合同練習を行い、それぞれの学校に顧問を置くことを条件としています。一定部員数が確保できる場合は、合同チームで試合に臨めないこと等から、森町の現状の職員体制では、合同による部活動の設置が難しいです。

近年、中体連以外の各協会による大会については、弾力化を検討する動きがあるとも聞いています。

合同チームの設置条件の緩和等について、引き続き関係機関に働きかけをまいります。

また、学校のあり方、規模適正化についても検討をまいります。

(通学路)

要望 泉陽中は自転車通学が多いので、街灯・草刈り・枝払いなど道路管理をしてほしい。

回答 県道については、県(袋井土木事務所)に対応をお願いしている。町道についても、道路パトロール等を通してその都度対応していきたいと思っております。

(統廃合)

要望 中学での生徒数が少ない。高校生になって多人数での学校生活になじめず、退学ということもある。町として学校の統廃合について今後どのような考えを持っているか。

森町に残って住み続けたいと思っている人たちのためにも、統廃合を進めてもらいたい。ただし、学校がなくなると地域のよりどころがなくなるといふこともある。また、通学での足(バスなど)がないということもある。磐田東のようなスクールバスを検討してもらいたい。

生徒数が少なくなるのは分かっているのに、なぜここまで来てしまったのか。

回答 現在、有識者をお願いして、森町の現状と今後の児童生徒数の推移等を分析し、学校のよりよいあり方を調査しています。

保護者や地域の皆さんの声を十分伺いながら、子供たちにとってよりよい学習環境となるよう、具体的な検討を行う準備を進めています。

皆さまからいただいたご意見・ご要望については、議会として研究・検討してまいります。

みんなのこえ

はばたけ!! 森っ子



森町剣道 スポーツ少年団

代表 中野憲次 電話 85-2490

私達の団は、「正しい剣道、たくましい青少年をめざして」を団訓として昭和54年に結成、今年で39年目を迎えました。
森町の五つの小学校からこれまでに約350名程の小学生が入団してくれました。

松の間で開催される剣道大会等に出場してがんばっています。
また、社会奉仕活動にも力を入れ、毎年、愛光園を訪問し、園内の清掃と歌の交流会を続け、今年で22年目になります。
これからも、未来ある森っ子の応援の場として活動を続けます。
一緒に剣道をしたい子、集まれ。見学自由、年中団員募集です。

議会を聴きに来ませんか

12月議会では、のべ46人の方が、議会へ足を運んでくださいました。
予約は必要ありません。手続も簡単です。
是非、お越しください。

- 定員数28名
- お問い合わせ先…議会事務局
電話 0538-85-6329

< 3月定例会の予定 >

- 3月 3日(金) 本会議 初日
- 3月 7日(火) 本会議 2日目
- 3月 8日(水) 常任委員会
- 3月 9日(木) 常任委員会
- 3月10日(金) 常任委員会
- 3月22日(水) 本会議 最終日

※会議の開始時間は午前9時30分です。
※日程が変更される場合もありますのでご了承ください。

あの一般質問

どうなっただいやあ～

【平成27年3月定例会】

Q 公共施設等をWi-Fi化する考えは。

A 役場庁舎等に無料で利用できるWi-Fi機器を設置しました。

設置箇所：役場、保健福祉センター
森アリーナ、文化会館
図書館、町民生活センター

森町議会だより第69号に誤りが2箇所ありました。

- ・8ページの優良田園住宅のイメージ図において、「300㎡以下」とありますが「300㎡以上」の誤りです。
- ・11ページの研修報告において、「三好市」とありますが「三次市」の誤りです。読者並びに関係者の皆さまにお詫び申し上げます。

ひとこと

今年、平成29年西暦は、大きく羽ばたく飛躍の年、成熟の年と言われているとされています。

我が家では、初孫が小学校に入学します。「1年生になったら、友達100人できるかな」という唄がありました。少子化が進んでいる昨今、この子たちの未来が、希望の持てる未来であるよう、私たち大人がガンバラなくてははいけないと思います。

また、母が卒寿90歳を迎え、お祝いが続く我が家です。飛躍と成熟の年にふさわしい、晴天に恵まれ、穏やかなお正月でした。

今年も、災害のない穏やかな幸せな年であってほしいと思います。

Y・おかの

議会だより編集委員会

- | | |
|------|--------|
| 議長 | 片岡 健 |
| 委員長 | 山本 俊康 |
| 副委員長 | 中根 幸男 |
| 委員 | 吉筋 恵治 |
| 委員 | 小澤 哲夫 |
| 委員 | 伊藤 和子 |
| 委員 | 岡野 和子 |
| 委員 | 中根 信一郎 |